

# 石川県河北郡内灘町議会

## 1 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会

現在、地方分権が進展し、少子高齢化が進む中、自治体の環境整備に議会の役割はさらに大きくなり、将来を見据えた政策が要求されている。当町議会では、総務産業建設常任委員会、文教福祉常任委員会、および議会運営委員会のほか、議会広報対策特別委員会、環境開発対策特別委員会を設置し、各委員会では、当町の懸案事項である事業、課題について毎年先進地視察研修を行い、その取り組みについて検討している。

また、各常任委員会所管の事業については、事業の進捗状況及び完成状況の現地視察を実施し、今後の事業の計画・方針等について、行政と協議している。平成20年より、毎月定例の全員協議会を開催し、先に開催された各常任委員会での審議内容等について各常任委員長からの報告を求めることにしており、町政の課題について議員全員での情報共有に努めている。

議員研修については、議員の資質向上を図るため県議長会・全国町村議会議長会等主催の研修会等に積極的に参加している。

## 2 住民に開かれた議会

### (1) 本会議の公開

平成22年3月より一般質問の一問一答方式を試行し、分かりやすい議論を目指している。

### (2) インターネットでの広報

#### (1) 本会議の公開

平成22年3月より一般質問の一問一答方式を試行し、分かりやすい議論を目指している。

#### (2) インターネットでの広報

定例会、臨時会の会議録、議会だより、議会日程、議長交際費など議会情報を積極的に公開している。

#### (3) 本会議の録画映像を配信

町のインターネットを活用し、平成20年から定例会の本会議についての録画映像を速やかに配信している。

#### (3) 議会だよりでの広報

議会だよりは、昭和60年5月10日に創刊され、現在111号を発刊している。議会での活動内容について町民に周知されるよう、定例会終了後40

日を目標に発刊し、全戸配布しているほか、公共施設の窓口に配布し、議会の情報を提供し、町民の議会に対する関心と理解の高揚に努めている。

議会広報の編集に当たっては、議会広報特別委員会を5人で組織し、研修会の参加や先進地の視察研修を行い、住民に親しまれる議会広報を目指し、分かりやすい紙面づくりを心がけている。全国コンクールでは平成21年度に入選、平成18、22年度に奨励賞を受賞しており、全国各地からたくさんの議会広報委員が、視察に訪れている。